


1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ITW Release Agent
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名	ITW Performance Polymers
住所	Bay 150 Shannon Industrial Estate Co. Clare アイルランド V14 DF82
担当者	カスタマサービス
電話番号	353(61)771500 353(61)471285
メール	customerservice.shannon@itwpp.com
緊急時電話番号	44(0) 1235 239 670 (24 時間)
会社名	ITW Performance Polymers
住所	Bay 150 Shannon Industrial Estate Co. Clare アイルランド V14 DF82
担当者	カスタマサービス
電話番号	353(61)771500 353(61)471285
メール	customerservice.shannon@itwpp.com
緊急時電話番号	44(0) 1235 239 670 (24 時間)
SKU#	AI013E

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類	
物理化学的危険性	高圧ガス 圧縮ガス
健康に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。
環境に対する有害性	オゾン層への有害性 区分1
GHS ラベル要素	
絵表示	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	高圧ガス: 熱すると爆発のおそれ。オゾン層を破壊し、健康及び環境に有害。
注意書き	
安全対策	なし。
応急措置	なし。
保管	日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
廃棄	回収又はリサイクルに関する情報について製造業者又は供給者に問い合わせる。
GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性	知見なし。

その他の情報	なし。
重要な徴候及び想定される非常事態の概要	
重要な徴候	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
非常事態の概要	内容物は加圧下に置く。 熱により容器が爆発することがある。 オゾン層に対して危険である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物			
	官報公示整理番号			
成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
ジメチルエーテル[メチルエーテル]	115-10-6	(2)-360	(2)-360	30 - 60
ハロゲン化炭化水素	75-37-6	(2)-86	(2)-86	30 - 60
化学式	C2-H6-O (115-10-6), C2-H4-F2 (75-37-6)			

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	皮膚接触による無毒性量があると思われる。
眼に入った場合	特別な応急処置の方法はない。
飲み込んだ場合	製品の形状から、該当しないと考えられる。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療スタッフに物質が何であることを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧。 泡消火剤。 粉末消火剤。 二酸化炭素（CO2）。
使ってはならない消火剤	知見なし。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	火災の場合：安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 貨物が熱にさらされた場合、貨物や車両を移動させない。 タンク、貨車、タンクローリが火災に巻き込まれた場合は、全方位に対し800メートル（1/2マイル）の隔離を行う；同時に全方位に対し800メートル（1/2マイル）の初期避難を検討する。 炎に巻き込まれたタンクからは常に退避すること。 危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。 貨物保管区域の大規模な火災に対してはできれば無人のホース保持機または遠隔操作ノズルを使用する。 もしそれができなければ避難して火が燃え尽きるまで待機する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	内容物は加圧下に置く。 与圧容器は熱や炎に暴露すると爆発する恐れがあります。
特定の消火方法	火災にさらされた容器は消火が完了した後もしばらく水で冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。 低い場所に保管してはならない。 多くのガスは空気より重いため地面に沿って広がり低い場所または狭い区域(下水道、地下室、タンク等)に集まる。 清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。 緊急時要員には自給式呼吸装置が必要である。 適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。 閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。 流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。 個人用保護具についてはSDS第8項を参照。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。 全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 ガスが分散されるまで、その場所を隔離する。 リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策（局所排気、全体換気等）	適切な換気を行う。
安全取扱注意事項	熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。 毎回の使用後および空になったときは、バルブを閉じること。 シリンダを物理的損傷から保護すること；引きずったり、転がしたり、滑らせたり、落下させたりしないこと。 シリンダを移動する場合には、たとえ短い距離であっても、シリンダ用に設計されたカート（トロリー、手押し車など）を使用すること。 水の容器内への逆吸引は、絶対に避けなければならない。 容器内に逆流させないこと。 ガスを導入する前に、システムから空気をパージすること。 この製品、製品の供給圧力および供給温度に適合する、適切に指定された装置のみを使用すること。 不明な点があれば、ガスの供給者に問い合わせること。 環境への放出を避けること。 産業衛生に気を配る。 SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。
接触回避	詳細についてはSDS第10項を参照。
衛生対策	本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。
保管	
安全な保管条件	直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。 シリンダは直立させ、バルブ保護キャップを所定の位置に取り付け、落下したり引き倒されたりしないよう確実に固定して保管しなければならない。 保管された容器の全体的な状態および漏洩について、定期的に検査しなければならない。 換気の良い場所で保管すること。 混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	標準監視手順に従ってください。
暴露限界値	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
設備対策	適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。
保護具	
呼吸用保護具	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。
眼、顔面の保護具	サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	気体。
形状	エアゾール 圧縮ガス。
色	澄んだ無色透明
臭い	Ethereal
融点／凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	-25 °C (-13 °F)
可燃性	データなし。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発限界－下限(%)	データなし。
爆発限界－上限(%)	データなし。

引火点	データなし。
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
pH	データなし。
動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度（水）	データなし。
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	データなし。
蒸気圧	4241 mm Hg
密度及び／又は相対密度	
密度	0.86 g/cm3
相対密度	データなし。
相対ガス密度	1.91
粒子特性	データなし。
その他の情報	
蒸発速度	> 0 - < 0.1
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
比重	0.86

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	熱。混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	混合物の100 % は急性経皮毒性未知の成分である。
皮膚腐食性／刺激性	長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。
皮膚感作性	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。
発がん性	データなし。
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分に該当しない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない。
誤えん有害性	製品の形状から、該当しないと考えられる。

12. 環境影響情報

生態毒性	オゾン層を破壊し、健康及び環境に有害。
------	---------------------

残留性・分解性	混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない
生体蓄積性	
生体内蓄積の可能性	
オクタノール／水分配係数 log Kow	
ジメチルエーテル[メチルエーテル]	0.1
ハロゲン化炭化水素	0.75
土壌中の移動性	本製品のデータはない。
オゾン層への有害性	オゾン層を破壊し、健康及び環境に有害。
他の有害影響	環境に対して危険。オゾン層を破壊することがある。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number	1950
UN proper shipping name	Aerosols, flammable
Transport hazard class(es)	
Class	2.1
Subsidiary risk	-
Packing group	-
Environmental hazards	No.
ERG Code	10L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.

IMDG

UN number	1950
UN proper shipping name	AEROSOLS
Transport hazard class(es)	
Class	2.1
Subsidiary risk	-
Packing group	-
Environmental hazards	
Marine pollutant	No.
EmS	F-D, S-U
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質
一般情報

該当しない。

積載空間が運転者区画から隔離されていない場合は、車両での輸送を避けること。運転者が積載物の潜在的危険有害性を認識しており、事故または緊急事態発生時に何をすべきか理解していることを確認すること。製品容器を輸送する前：容器が確実に固定されていることを確認すること。そく止弁が閉じていること、および漏洩していないことを確認すること。バルブ吹出口の袋ナットまたはプラグ（設けられている場合）が正しく取り付けられていることを確認すること。バルブ保護装置（設けられている場合）が正しく取り付けられていることを確認すること。十分な換気を確保する。適用法令を遵守すること。

IATA; IMDG



国内規制
国内輸送については 1 5 項の規制に従うこと。

応急措置指針番号
126

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

2023年3月31日までの化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則 高圧ガス

航空法・施行規則 高圧ガス

火薬類取締法

該当せず。

高圧ガス保安法

ジメチルエーテル[メチルエーテル]

可燃性ガス

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

ITW Performance Polymers は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。The information provided in this Safety Data Sheet is correct to the best of our knowledge, information and belief at the date of its publication. The information relates only to the specific material designated and may not be valid for such material used in combination with any other materials or in any process, unless specified in the text. The information given is designed only as a guidance for safe handling, use, processing, storage, transportation, disposal and release.